

鎌倉市教育委員会 平成30年6月定例会会議録

○日時 平成30年6月25日(月)
9時30分開会 10時42分閉会

○場所 鎌倉市役所 講堂

○出席委員 安良岡教育長、齋藤委員、山田委員、朝比奈委員、下平委員

○傍聴者 3人

○本日審議を行った案件

日程1 報告事項

(1) 教育長報告

(2) 部長報告

(3) 課長等報告

ア 鎌倉歴史文化交流館の運営状況について

イ 行事予定(平成30年6月25日～平成30年7月31日)

日程2 協議事項

鎌倉市総合計画審議会委員候補者の推薦について

日程3 議案第9号

鎌倉市図書館の開館時間及び休館日の変更について

安良岡教育長

開会に先立ち、本日6月25日付けで朝比奈委員が教育委員に再任されたので、一言ご挨拶をお願いします。

朝比奈委員

本日、3期目の教育委員を拝命した朝比奈恵温である。また、これからも鎌倉の教育行政のためにできる限りのことを尽くしてまいりたいと思う。今後とも、どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくをお願いします。

安良岡教育長

今後も、どうぞ引き続きよろしくお願ひしたい。

それでは、定足数に達したので委員会は成立した。これより6月定例会を開会する。本日の会議録署名委員を、山田委員にお願いします。本日の議事日程は、お手元に配付したとおりである。課長等報告で、最初に学校に設置しているコンクリートブロックの調査報告を、追加でお願ひしたい。

1 報告事項

(1) 教育長報告

安良岡教育長

始めに、大阪府の北部を震源とする地震が、6月18日朝8時近くにあった。震度6弱と
いうことであった。この地震によって、高槻市立寿栄小学校のプールのブロック堀が倒壊を
し、登校中であった4年生の児童が下敷きになりお亡くなりになった。学校施設において施
設管理が不十分で子どもが亡くなるということがあってはならない。私どもは、改めて施設
管理を十分行うよう、校長と連絡を取りながら点検を行っているところである。璃奈さんが
安らかに眠りにつかれるよう、祈っているところである。鎌倉市においても、このコンクリ
ートブロックに関しては、通学路等も含めて緊急点検を行ったので、後程、課長等報告の中
でご報告させていただきたいと思うので、よろしく願います。

それでは、前回の教育委員会からその後の予定ということでご報告したいと思う。

5月17日、18日に、全国都市教育長協議会が岩手県の一関市で行われた。東北で開かれ
るということで、東日本大震災から7年が経ち、被災をした宮城県の名取市から報告があっ
た。海と仙台空港の近くということで、小学校、中学校がかなりの被害を受け、名取市で被
災した学校をどう再建するかという取組を紹介していただいた。小・中一貫校を作っていこ
う、それからやはり高台に、地域の防災拠点としての取組というところで新しい学校を作っ
ていこうという取組の照会であった。

その後、5月21日から6月6日にかけて各学校を訪問させていただき、新しく校長先生、
教頭先生になられた先生方、新採用の先生方、どのような状況で活躍されているのか、拝見
させていただいた。

また、鎌倉の小学校では5月21日から24日まで日光修学旅行があり、どの学校も全校、
子どもたちが元気に修学旅行に参加し戻ってきた。中学校は、学校ごとに5月の中旬ぐらい
から6月上旬にかけて、関西方面あるいは飛騨高山、それから美浜の方まで行っている学校
もある。

5月25日に関東甲信越静、静岡も入った市町村教育委員会連合会の総会があり、朝比奈
委員と齋藤委員も一緒に行っていたので、ご報告いただければと思う。

5月28日に神奈川県都市教育長協議会の総会があり、役員改選等が行われた。

それから6月に入り6月1日、今年度第1回目の総合教育会議があったので、教育委員の
皆さんに何かお気づきの点があったら、また後ほどご報告をいただければと思う。

6月9日に深沢こどもの家が新しく出来上がり、放課後こども総合プランが次の月曜日か
らスタートしたところである。深沢小学校は校舎内に学童の施設があったが、やはり低学年
が放課後になっても、高学年の授業があると、静かに教室の中で待っていなければいけない
というような、子どもたちにとって辛いところもあり、そして子どもたちの利用の数も増え
てきているということで、校舎外に放課後子ども総合プランという形で新しく開設をしてい
ただいた。約800人の子どもたちがいる中で、半数以上の子どもたちが登録している。子ど
もたちの新たな放課後の遊びという場を提供していきたいということで取り組んでいただい
ている。また何か機会があればご報告していきたい。

同じ6月9日、中学校文化連盟、中学校体育連盟のそれぞれ今年度の総合開会式があった。文化部も運動部も、それぞれ子どもたちの活躍を期待したいと思っている。

6月13日から6月鎌倉市議会定例会が開会された。後ほど部長から議会についてはご報告をいただきたいと思うのでよろしく願います。私からは以上である。委員の皆さまから何かあったら、いかがか。

下平委員

以前の教育委員会でも行事日程の中でご紹介いただいたのだが、6月8日と15日に大船学習センターにおいて、生涯学習のセミナーとして「豊かな人生の話し方、聞き方」というテーマで、市民の方々、各回25名ほど揃ってくださった。鎌倉市の方だけではなく、逗子市や相模原からいらした方もいて、鎌倉萌を見て、近隣の方々も興味を持って参加して下さるといふ実態が分かり、ありがたいと感じた。

私自身も高齢者なのだが、私以上に高齢者の方々を中心に多く集ってくださり、非常に実習などもわいわいと楽しそうに皆さん参加して下さった。このように生涯学習にどういふ方々が参加して下さって、そして何を求めてらっしゃるのかというようなことが今回、実際に担当させていただいて分かったので、高齢者の方々が活性化し、そしてみんなで集えるような、そういうよいセミナーを今後も計画していきたいと感じたところである。

齋藤委員

先ほど教育長から報告があった、関東甲信越静の教育委員の連合会総会及び研修会参加した思いを、少しだけお伝えしたい。

オリンピックで活躍された水泳、岩崎恭子氏がお話しをしてくださったのだが、活躍した後の地域、周りの反響の凄さに自分がどうであったかということ。それから、その後どのように自分を鍛えて頑張っていくか、というようなご苦労もお話があった。ご自身がどういふ形で何を伝えていくか、いっぱい思いはあったようである。私たちにも「やはり常に前を向いて歩いていかなければいけない。いろいろな面を持っていかなくてはいけない。努力を続けていかなくてはいけない」といふような呼びかけもいただいた。とてもよかったと思うのは、終わった後に連合会なので他市の教育委員の方々、委員会の方々がいらして、その方々と意見交流をする場を持てたこと、「鎌倉ではこのような感じ、何々市ではこういう感じ」といふのを話し合うことができ、とても有意義に思った。

それから、5月26日御成中で桐葉祭体育の部が行われ、私は1日はいられなかったのだが、少し雰囲気をつとめて朝から参った。その時に感じたのが、中学生なのだ、でもこんなに素直なのだ。立ち居振る舞いから私たちへの接待といふか、挨拶とかそういうことの中で、こんなにしっかりよい子が育っているといふのをすごく強烈に感じた。その後競技をするにあたって、チームワーク、お友達、生徒同士の和気あいあいとしたつながりの深さを感じて、よいと思った。その後、全校リレーか、学年リレーかの時に、特別支援級の子どもたちが少し前から行き、車いすを使ってといふので、前半は一生懸命で本人が、まっ直ぐ進めない子もいるのだが、それでも一生懸命何メートルか進み、その後あまりにも距離は遠いので先生が補助するのだが、ゴールに来たらまた本人の力で進むのである。その達成感、またそれを見守る保護者の皆さん、来賓のみなさんもそうなのだが、とても温かくて、よい教育だ、

これが本当の教育をしているということなのだと感じをした1日であった。

(2) 部長等報告

教育部長

市議会6月定例会であるが、6月13日に開会し、今週末の29日の金曜日までの17日間で開催されている。21人の議員が一般質問に立たれ、教育部関連については10人であった。主に5月に起きた新潟の事案に係る通学路の安全確保ということで、議員からのご質問があった。また、引きこもり、不登校に関連する事案、健康教育、働き方改革に関連するご質問があった。

続いて、常任委員会報告であるが、基本的には私たちから5本の報告事項を上げさせていただいたが、先ほど教育長からあったように、大阪北部地震に伴うコンクリートブロック塀が倒れたという事案があり、これについて追加日程で報告をさせていただいたところである。基本的に報告事項については了承いただいたのだが、小学校給食の委託化事業については、業者選定にあたるプロポーザルをすべきではないか、また一般的な価格競争だけの入札ではなくて、他の方法をとるべきではないかというようなご意見もあったことから、多数の了承というような形になっている。コンクリートブロックについては後ほど、学校施設課長から詳細なご報告をさせていただきたいと思う。

最後に6月20日、本会議において先ほど朝比奈教育委員のご挨拶もいただいたが、総員の賛成によって人事案件については同意をいただき、本朝、市長から委嘱状もいただいたところである。

文化財部長

私からは2点ご報告がある。1点目は教育部と同じ市議会6月定例会の概要である。文化財部、歴まち関係、文化財部だけであったが、5名の方が一般質問をされた。内容としては、調査研究体制の充実に関する事。それから3名の方が北鎌倉隧道に関するご質問で、尾根の文化財的価値とは一体何なのかという辺り。それから文化庁のこれまでの対応、文化庁がきっかけを作ったのだから文化庁に説明を求めたらどうかというような趣旨の質問等があった。それからくりはら議員から、隧道に価値がないのかということ。それから、これまで仮設工法、本設工法を都市整備部の方で検討してきたのだが、そこに文化財的な観点での検討はあったのかというようなことで、いずれもあったとお答え申し上げた。

それから教育こどもみらい常任委員会であるが、文化財部からは鎌倉歴史文化交流館の運営状況についてご報告をし、これは後ほど担当の課長から詳細の説明をするが、その内容については了承をいただいた。

それと、陳情第11号ということで、北鎌倉隧道の所在する尾根の史跡追加指定について早期の取組を求める陳情があり、審査の結果、全会一致で採択であった。陳情の中身は早く追加指定をとということで、我々としてもその取組を進めているところである、ということでご説明申し上げた。

それからこれは明日の予定になるが、総務常任委員会が開かれ、これは2番目の報告事項

に関することであるが、平成 30 年度一般会計補正予算で、野村総合研究所跡地の野村橋の安全対策に係る補正予算を計上しているため、その審査がある。以上が 6 月定例会の概要である。

続いて、野村総合研究所跡地に掛かっている野村橋に係る対応状況についてご報告申し上げます。本件については、平成 30 年 3 月 14 日開催の 3 月の教育委員会定例会で課長から報告したとおり、2 月 23 日の午後にコンクリートが一部剥落、落下したことから同日に施設の全面閉鎖を行ったところである。その後、平成 30 年 3 月 12 日からは橋は通らずに、史跡北条氏常盤亭跡地からグラウンドへ至る道があり、ここを利用するならば一部グラウンド等についてはご利用いただいても構わないという処置を取ったが、現在も橋の安全が確認できないことから、正面入り口からの人及び車両の出入りは禁じている。この橋の安全対策であるが、平成 30 年 6 月 1 日に、都市整備部道路課による簡易的な点検検査を行った。この結果は平成 14 年に点検しているのだが、2 トン車までなら片側通行で通ってもよいだろうという所見があり、それに従って今まで使ってきたところだが、その状況というのは大筋変わってはいない。ただ本格的な調査が必要ということで、これについては先ほど申し上げたとおり橋梁の調査、補修設計の委託に係る費用を、行政経営部公的不動産活用課がこの 6 月定例会に補正予算を計上している。今後の予定だが、この補正予算を認めていただけたら、今申し上げたとおり、行政経営部公的不動産活用課で今後の調査等を実施していく。安全対策についても、そちらで実施していくというところである。

(3) 課長等報告

市内小中学校におけるコンクリートブロック塀について

安良岡教育長

初めに、先ほどお話しした市有地内におけるコンクリートブロック塀について、学校施設課長から報告をお願いします。

学校施設課長

教育委員会の対応をご説明する。教育委員会では、6 月 18 日午前 7 時 58 分頃の地震発生 の情報を得て、午前 10 時頃、小・中学校全 25 校に FAX で通知し、学校長に児童生徒への安全指導と教職員間の安全体制の確認を指示した。また、小・中学校全校に学校敷地内のブロック塀及びブロック土留めの有無を確認し、緊急点検を依頼し報告を得た。この報告を受け、6 月 19 日（火）には公的不動産活用課と共同して、全 25 校の現地調査を目視により実施した。翌 6 月 20 日（水）には、学校施設課単独で各学校担当者が前日の調査でブロック塀があることが判明した第一小学校、第二小学校、御成中学校及び腰越中学校の 4 校について、再度ブロック塀の高さが 1.2 メートル超か否かということと、ブロック塀に著しいひび割れ、破損、または傾斜が生じているかを再調査し、緊急修繕の要否を確認した。その際、学校側には児童生徒への注意喚起を依頼し、学校施設課としては応急的な安全対策として、危険個所にカラーコーンを置く措置を施した。調査の結果、第一小学校及び第二小学校の、2 校 3

箇所では控え壁がないことを確認し、緊急修繕等を早急を実施している。

(質問・意見)

下平委員

控え壁がないことが判明とおっしゃったが、具体的にはどういう状況なのか伺いたい。

学校施設課長

建築基準法の施行令では、増強されていない普通の塀については1.2メートル以下にしなければいけないという規定がある。控え壁といって壁面に対して直角に支えるような壁がある場合であっても、高さを2.2メートル以下にしなければいけないという規定がある。一義的に肝心なことは、増強されていようがいまいが1.2メートル以下であるかが問題であるので、そこを目視によってではあるが、地震の翌日から動き出して確認した。控え壁とは、先ほど申し上げたとおり、細かい何センチにしなければならないという数字を申し上げてもよろしいのだが、よく町中でもご覧になると思うのだが、壁面に対して直角に支えている壁のことである。

それが第一小学校の正門の部分、学校のプレートが入っているところが7段のブロック塀。次に、第二小学校の給食室の出入口付近のところ、ここはコンクリートの擁壁の上に4段のブロック塀がある。それからもう一つ、第二小学校の体育館の前にごみ置き場、クリーンステーションがあり、ここが7段のブロック塀であることが確認された。

それぞれの場所について、先ほど説明したとおり、児童への注意喚起、カラーコーンを設置して安全を確保ということはもちろんしているが、先週中にそれぞれ修繕を施していただく業者と交渉に入っており、今週中に見積りの入手とそれから施行という段取りを今のところ考えている。

安良岡教育長

第一小学校の正門の所が、ちょうど坂道になっており、隣の敷地との境にブロックがあったということで、ここが今回のブロック塀の関係では、一番子どもが通るところかと。

学校施設課長

今教育長がご紹介されたブロック塀は、坂道を上がって学校に入っていく右側にあると思うのだが、そのブロック塀は、実は市の敷地内にあるかどうか微妙である。もしかしたら民有地、つまりそこに隣接する方がお建てになられたブロック塀かもしれないので、それは先週来ずっと調査している。先ほど私がお報告した案件は、その坂の正面にある学校の「鎌倉市立第一小学校」というプレートがある部分の塀のことである。

下平委員

地震発生で、悲しい事故が起きてしまった。本当に、事故が起きてからでは手遅れなので、とにかくこの機会にすぐに動いて調査して下さっているということで本当に安心したが、ブロック塀は学校施設内に限らず、通学路も鎌倉市はいろいろ不安なところもあるので、こ

の機会に児童生徒に事故が起こらないように再点検をしなければいけないと思う。施設のことではないのだが、子どもが巻き込まれる事件も非常に全国で多く発生しているので、防災に関して議会からもご意見があったが、注意喚起して大人たちが子どもたちをしっかりと守って、安心安全な状況を提供することが何よりも大事なので、改めてよろしく願います。

学校施設課長

今の下平委員のご発言を受け、通学路の危険ブロックのことだけ申し添えたいと思う。通学路の危険ブロックは、市長部局の建築指導課が所管をして、平成4年度来コンスタントに調査を重ねている。その調査の結果、まだ約1,900箇所が危険、やや危険と思われる所があるということで、これを緊急的に今週から部の隔たりを越えて、我々学校施設課の職員も協力し、緊急調査を施すことになっている。通学路自体は学校施設課の所管ではないのだが、そうはいつてもというところで、鎌倉市で全庁的に調査を実施していくことになっている。

下平委員

所管が違うという隙間が、いろいろな事故につながるということが往々にして起こるので、全庁通じてこの機会にしっかり見直していただくのはありがたいと思う。よろしく願います。

(報告事項「市内小中学校におけるコンクリートブロック塀について」は了承された)

岩瀬隧道の崩落に伴う通学路の対応について

安良岡教育長

今、通学路のお話が出たと思うのだが、もう一件通学路関係でご報告しなければいけないことがあり、教育部次長から願います。

教育部次長兼教育総務課担当課長

岩瀬中学手前の岩瀬の隧道が5月の下旬に素掘の部分崩落し、今通行止めになっている。市では道路課を中心に対応と緊急に補正予算を専決させていただき、約2億円の予算を立てた上に、現状既に6月の月上旬に調査・工法等の決定、そして工事ということで補正予算を組ませていただいている。

ただ、実際に通れるようになるのは今年度中、冬になってしまうかという状況である。それに対応して、山側と砂押橋側から通学をお願いしているところなのだが、山側の方はかなり道が悪いので、こちら道路課、作業センターが作業に入り、砂利を引いたり、出てしまっている枝等の枝払いと、今後電気業者等とも相談して電気がつくように、これから冬に向けて暗くなってきてしまうので、そのような対応を現在しているところである。

(質問・意見)

安良岡教育長

岩瀬の隧道、朝早くだったので子どもたちの被害はなかったのだが、その日は修学旅行の荷物を集める日で、遠回りしなければならず一人遅れてしまった子がいて、学校は先生方が迎えに行ったりして対応していただいたようである。今は、遠回りをしながら子どもたち、中学生も通っているところである。

山田委員

今ブロック塀とか崩落の話ではないのだが、通学路の話が出たところで少し一言。常日頃、私は朝通学する小学生、うちの辺りは第二小学校なのだが、横浜国大とか清泉のお子さん辺りがちょうど通学している時に通ることが多いのだが、多分通勤の方だと思うのだが、物凄く急いで自転車で路地を走ってきて、特にカーブの所を止まらないでそのままの勢いで曲がってくるので、子どもが当たりそうになったのを何回か目撃したことがある。今は自然災害のお話だが、人的事故というか、交通に関してのご指導は各学校で入学当時からずっとされていると思うのだが、あの危険性の方が確率としては高いと思っている。どうしたら身をもって、多分交通指導をいろいろとされても、本当に危険だとか危ないとか怖いという意識があまり子どもたちにないのではないかと、自分の子どもを見ても思う。「今日、こんな感じでぶつかりそうな人がいた」などと言っても、しらっとして全然自分事として聞いていないし、どうしたらあれが防げるのか。今のところ何もなくてよいとは思っているのだが、交通指導に関して今一度どこかの時点でもう少し本人たちが危険だと、危ないから気を付けなくてはいけないと感じることと、それから大人がという話もさっきあったが、どうして止まらないのかと思うのだが、本当に危険なので、うちの辺りだけではないと思うので、学校で工夫してご指導いただいたり、地域でその辺をもう一度喚起していただければと思う。

安良岡教育長

子どもたち、友だちと一緒に来ると、話をしていることに夢中になってしまって、周りのことに気が付かず、何か来るのではないかと気を付けなければいけないところもあるかとは思いますが、大人の自転車の乗り方も注意していかなければいけないと思っているので、また機会があれば注意喚起していきたいと思う。

朝比奈委員

付け加えるが、今通れなくなっている北鎌倉のトンネルにしても、あそこは通学路であり、小坂小学校や北鎌倉幼稚園、大船高校、岩瀬中学の子も通ったと思うが、あのわずかな距離の細いトンネルだけの話なのだが、ちょうど視界が遮られる所で、オートバイや自転車が急に入ってきて、出た所に子どもがたくさんいるといったことも、私も何度か目撃している。幸いなことに事故に至ることはないが、そういう意味でも、今通れないからその事故はないのだが、また今度通れるようになった時に、守りたい方々に関して言えばなるべく朝の登校時間とか、下校はバラバラになるから登校に限るのかもしれないが、地域の方が目を光らせて誘導するとか、オートバイは徐行しないと通れないような工夫をすとかしないと、崩落の危険もそうだが、衝突の危険はあるし、景色を守りたい方々は下を舗装することを拒んでいる。そうすると、雨だと大変なことになっている。守りたい皆さんは荒れた所をお掃除に

来て下さるわけでもなく、ぐちゃぐちゃのまま子どもたちは登校している。そこにオートバイが通って水がはねるとか、そういうことも私は心配していたのだが、一切そういうことは多分お話しは出てこないと思う。そういう鎌倉ならではの狭い路地とかそういう所の危険性は、自転車を運転する方のマナーの改善が多分一番急務だと思うし、その視界の悪い所に関してはなかなか状況を見ないと、どこが危険かというのは分かりにくいと思うのだが、ぜひ注目してご注意を促していただければと思う。

安良岡教育長

各部にも協力を依頼していきたいと思っているので、よろしく願います。

(報告事項「岩瀬隧道の崩落に伴う通学路の対応について」は了承された)

ア 鎌倉歴史文化交流館の運営状況について

安良岡教育長

それでは報告事項ア「鎌倉歴史文化交流館の運営状況について」報告をお願いします。

文化財施設課長

それでは、課長等報告ア「鎌倉歴史文化交流館の運営状況について」の報告をさせていただきます。議案集は1ページから4ページである。

鎌倉歴史文化交流館については、平成29年5月15日の開館から1年が経過した。展覧会事業としては、平成29年10月19日から12月9日まで企画展「蘇る永福寺」を開催し好評を博した他、平成30年1月以降は発掘調査速報展を順次開催している。また、講座やワークショップ、トークセッションなどの各イベントの開催や、毎週土曜日のギャラリートーク、市内外の学校及び団体への対応、市内小・中学校児童生徒への年間パスポートの配付などを実施した。なお、入館者数は開館日の平成29年5月15日から平成30年5月14日までの1年間の合計で、25,309人であった。開館日1日あたりの平均では約93人である。

今後は、日曜・祝日の開館に向けた調整を行なうとともに、引き続き魅力的な展示やイベントを開催し、来館者に親しまれる館となるよう努めていく。

(質問・意見)

安良岡教育長

ワークショップ、講座で夜間の開催が結構多くやっていたが、あそここの場所だと夜間というのはまた独特の雰囲気があって、参加される方も非常に好評なのか。夜間に設定している目的みたいなものがあつたら願います。

文化財施設課長

日中だと基本、会場となる交流室を交流のスペースとしてお申込制の形でご利用いただく

という状況があるので、基本私どものあらかじめの自主企画という形では、夜間の設定にさせていただいている。

山田委員

来館者数を拝見し、11月に非常に件数が高くなっている。これは何かあるのかと思って前のページを拝見しても、特に11月に大きな何かがあったという感じではなさそうなのだが、何か理由があるのか。それから、1年経って何か近隣の方々の反応も含め、あるいは来館者の反応だとか、何か大きな意見があったら教えていただければと思う。

文化財施設課長

最初のご質問、11月については、企画展「蘇る永福寺」でVR等を使ったイベントがあった。これについてはメディア等、テレビ等でもご案内をいただき、日によっては1日500人と突出して多い日もあり、それで全体としてこの11月の入会者数は底上げしたような形になっている。

それから2番目のご質問について、日曜・祝日開館に向けての近隣住民の方のご意見等であるが、29年度も住民の方々に説明会等を行い、またその中では折々のイベントや展示等について大変よいものである。また、地元の方も誇れるようなものをしていただきたいという比較的好印象のお話もいただいているので、そうしたところを着実に積み上げていながら、住民の方のご理解をいただくような形で事業を進めてまいりたいと考えている。

下平委員

1年経って企画して工夫されていることは分かるのだが、開館して以来の想定として、今の入場者数、これはどのように考えてらっしゃるのか。施設自体が限られた敷地でもあるし、そんなに大勢が来ても収容しきれないこともあるだろうから、今後はどのように増やしていこうとお考えなのか伺いたい。

文化財施設課長

全体の入館者数、当初の想定では6万人という数字をイメージしており、そういうことでは2万人、1日が約90人少しでは想定を下回っていることは、現実として私どももしっかり受け止めたいと考えている。ひとえに周知が、まだできたての館であり、皆様に浸透していないという部分がある。これについては、今年度の予算措置として広告費等を付けさせていただいて、例えばJR鎌倉駅にポスターを掲示させていただいて、駅の階段を下りたところで認識をしていただく。あるいは交流館の方に向かう道、電柱等のところに広告をつけさせていただくとか、そういった対応させていただくことで少しでも露出を多くして、皆様にお立ち寄りいただけるような施設を考えていきたい。

朝比奈委員

日曜日が駄目というのは相変わらずなのだが、それもまた想定を下回る理由の一つなのではないかと考える。やはり認知度をもっと高めていくことが大事だと思う。例えばどなたか名物学芸員の人がいて、この人に会いにいきたいと、そういうのが世の中に広まるくらいの、

独特な SNS で話題になるぐらいの特徴があるとよいと思う。私も夜間講座に出させていただいたこともあるので、夜のエントランスを使った講座が非常に楽しい雰囲気、また企画していただければ我々が協力できること何でもするので盛り上げていきたいと思う。どうかよろしく願います。

安良岡教育長

子どもより大人が多いようなので、ぜひ。

齋藤委員

私も今お話を伺い、1年であること、着実に進んでいるということ非常に嬉しく思う。最初から目標値には達しないだろうと思うので、焦ることではないのではないかと。今後も、ワークショップ等イベントを工夫してくださることなので、楽しみにさせていただきます。

館に伺った方の声を聞くと、あれだけ丁寧に分かりやすくまとめられているということは素晴らしい。それが人々に声をかけ、また行ってみようということにつながっていくのだろうと、非常に嬉しく思っているのだが、行かれた方が「何だあれは」だったら少し寂しい。だが、その方々が非常に感動しているということは、これからも引き続きぜひ続けてほしいと思うし、それから日曜・祝日開館に地域を取り込んでいけるということも、1年間のたゆまぬ努力の成果だと思う。頑張って進めていっていただくことを期待しているので、よろしく願います。

下平委員

先ほどから補正予算の話も出ているが、実際に鎌倉というのは予算をかけなければいけないものがたくさんあるという現実もある。招待券をばらまいて招待客だけが来るというのではもったいない。よい施設であることは間違いない。観光客が通りすがりに寄ることを期待しているだけでは当然上がらないので、安い金額で提供もしているし、今まだ知らない人たちに知らしめるということが一番大事だと思う。例えばイベントの一部だけでも YouTube に上げておくとか、それからフェイスブックより twitterの方が広がると聞いたが、そういうページなどを作ってどんどん私たち内輪でシェアしながら、知らない若い人たちにも知ってもらって、この歴史文化交流館に行こうという思いで、そういうことを学んでいる学生などからも注目されるような、せっかくよいものを行っているのであれば、知らしめなければ意味がないと思う。広報とおっしゃっていたが、いろいろな視点で今どういう広報が一番ヒットするのも含めて少しご検討いただいて、せっかくだったらよいものを大勢の人に見て貰いたいと思っている。施設管理に関しても、こういう施設はお金もかかるであろうから、そこはしっかり考えないといけないポイントかと思う。よろしく願います。

文化財施設課長

さまざまに激励、ご叱咤ご鞭撻いただき感謝する。今ちょうど YouTube、twitter という話が出たが、twitter についてももうすでに始めさせていただいており、そちらについては情報等流させていただいている。YouTube 等も含めた今時の SNS 等を活用した、ツールをお持ち

ちの方にまずヒットしていただいて、更に拡散・展開していくような手法も材料に入れて、広報活動、周知活動の検討について進めてまいりたいと考えている。

(報告事項アは了承された)

イ 行事予定 (平成 30 年 6 月 25 日～平成 30 年 7 月 31 日)

安良岡教育長

次に報告事項のイ「行事予定」について、記載の行事予定について特に伝えたい行事等あればお願いする。

教育部次長兼教育総務課担当課長

教育部関係については、議案集の 5 ページから 12 ページに行事予定を載せている。その中から 2 点ほど。5 ページ 4 番、夏休み子ども写生大会である。7 月 23 日に、今回は鎌倉の海浜公園の稲村ガ崎地区で実施をさせていただく。寄せられた作品については、後日地下道ギャラリーにおいて展示を予定している。2 点目、8 ページ 41 番、かまくら子ども議会である。7 月 26 日(木)、鎌倉市市議会の本会議場にて実施を予定させていただいている。子どもたちが市議会の模擬体験を通じて地方自治の仕組みについて学習する機会となっている。ぜひ傍聴いただければと思うので、よろしくお願いする。

歴史まちづくり推進担当次長兼文化財部次長

文化財部からは議案集 12 ページ、文化財施設課、国宝館の部分で 84 番、「仏道入門一のぞいてみよう！ウラとワザー」。例年恒例となっている夏の時期に行うものである。7 月 15 日号の広報で掲載の予定である。またこれに合わせて、夏休み期間中、閉館日の月曜日、お子さまにお越しただいて仏像を写生というか描いていただく、そのようなイベントも予定している。

次の 13 ページ、こちら歴史文化交流館の部分の 3 件である。前回 5 月の定例会でご報告させていただいたときには、「考古入門(仮)」でご報告させていただいたが、「発掘！かまくら探偵団 2018～日本のやきもの編～」ということで広報 6 月 15 日号で掲載、周知している。

また次の 86 番、これは明日、「鎌倉古建築鑑賞の手引き」ということで社寺建築を中心に。こちらは 6 月 1 日号の広報で募集をさせていただき、応募、備考欄定員 60 名ということなのだが、90 名以上応募があったので、抽選で 60 名の方にお越しただく予定になっている。また夜間講座ということで、毎月続けて、7 月には「絵巻物鑑賞」、6 月、今月は建築、来月は絵巻というようなことで、目先を変えていろいろな観点から、今後も夜間講座等を進めてまいりたいと考えている。

(質問・意見)

山田委員

歴史文化交流館の件、展示の意味での建築の企画だと思うのだが、あそこの建築自体がノーマン・フォスターの、どのくらいの位置付けなのかは分からないのだが、プライベートな建築でもあるけれども、見どころがあるのかと思うところもある。もしかしたら、内装は変わっているが、当初の映像や写真などがあつたら、そういうのを見せたり、あそこの建築自体にフォーカスするのも面白いのかと。もうされているのかもしれないし、またできない理由があるのかもしれないが、感じている。

歴史まちづくり推進担当次長兼文化財部次長

今、ご紹介いただいたフォスターの建築について、毎週土曜日、ギャラリートークということで学芸員が館内の展示物が中心なのだが、建物についてもそのときご案内させていただいたり、裏の庭などの部分もお話しさせていただいているところである。当時の建築、改修前の写真が残っているので、そういったものを受付に写真集として、ご要望のある方にはご覧いただくような、そういった対応もさせていただいている。また今後、展示とは違うのだが、建物に特化した講座やイベントを考えていきたいと考えている。

安良岡教育長

12 ページにある子どもたちの「1日としょかんいんになってみよう」で、これは中央図書館はやらないということか。四つしかないが、地域館なのか。後ほど確認をしていただければと思うので、よろしく願います。

下平委員

夏休みならではの企画だと思うのだが、この実際に図書館員になってみようということで、小学生たちが来て具体的にどんなことを体験するのか。図書委員というのがいると思うが、そういう人たちが参加するのか。それと、82 番の学校教職員の方の図書館実務研修というもの、どんな内容で実施するのか、少し伺ってみたいと思う。願います。

中央図書館長

「としょかんいんになってみよう」については、こちらは小学生低学年の方、あと中・高学年の方、グループになっていただいて、1日図書館の職員と一緒に本の貸し出しといった業務や、中央だと地下の書庫に行き、古い書庫を要望に応じて出してみたりといったことをさせていただいている。また、小・中学校の教職員対象の図書館研修は、主に学校の先生方なのだが、同じように図書館司書の業務について一緒に入っていただいて、仕事をして図書館がこういうことをやっているというような、あとレファレンスを一緒にやったりというような、そういった業務をやっている。

(行事予定報告はそれぞれ了承された)

2 協議事項 鎌倉市総合計画審議会委員候補者の推薦について

安良岡教育長

続いて日程2、協議事項に入る。「鎌倉市総合計画審議会委員候補者の推薦について」を議題とする。協議事項の説明をお願いします。

教育部次長兼教育総務課担当課長

協議事項「鎌倉市総合計画審議会委員候補者の推薦について」説明をさせていただく。議案集14ページ及び15ページをご覧ください。

市長から、鎌倉市総合計画条例に基づき、鎌倉市総合計画審議会委員候補者の推薦について依頼があったため、その内容についてお諮りするものである。

総合計画審議会は、市長の諮問に応じ、総合計画の策定その他その実施に関する基本的事項または重要事項を調査審議するために設置される。この度、平成31年度までを計画期間とする現行の「第3次鎌倉市総合計画第3期基本計画」を改訂するための総合計画審議会を設置するにあたり、委員の推薦依頼があったものである。

審議会委員は15人以内をもって組織され、市教育委員会委員、市農業委員会委員、公共団体または公共団体の代表者、学識経験を有する者、市民のうちから、市長が委嘱する。今回は、10人での組織を予定している。

なお、審議会委員の任期は、審議会の所掌事務の処理が終わるまでの期間となっており、今回は、第1回の審議会の開催を予定している本年7月の末から概ね2年程度を予定している。

(質問・意見)

安良岡教育長

その他のところで女性委員となっているが、できれば女性の方をということか。

教育部次長兼教育総務課担当課長

審議会と諮問機関については女性委員を4割登用していこうという市の方針があり、その中で、ぜひとも女性委員をという市長からのご希望である。

下平委員

今回、第3次ということなのだが、そういうことは第1次、第2次があったわけで、そのときも、この教育委員会から教育委員が代表でどのように出ているのかということと、あとはこの第3次にあたって、委員のメンバーというのは総替えということなのか。新たにまた10名が各所から選ばれるということによろしいか。

教育部次長兼教育総務課担当課長

先ほど説明した第3次鎌倉市総合計画第3期基本計画、こちらが今ちょうど動いている計画になる。こちらの第4期の基本計画を今回お願いするような中身になるかと思うのだが、第3期基本計画の策定にあたっては、山田委員にご参画いただいたところである。

下平委員

10名が全部変わることになるのか。

教育部次長兼教育総務課担当課長

毎回2年程度を委嘱期間として、そこでそれぞれ交代ということで、新しい方を予定している。

安良岡教育長

そうすると、私どもの中からどなたか推薦していくような形でよろしいか。

教育部次長兼教育総務課担当課長

本日このご協議の中で、どなたかご推薦いただければと考えている。

山田委員

私も第3期に参加させていただき、この委員会も多岐に渡っているのだが、さらに市がどのように計画を立てられているのか非常に勉強にもなったし、都度こちらでもご報告させていただいたと思うのだが、ぜひ次の新しい方ということで下平委員に、お忙しいと思うが、よろしければお願いしたいと思う。

齋藤委員

私も、下平委員もいろいろ忙しいと思うのだが、やはり鎌倉市のことなので、2年間頑張っていたきたいという思いで推薦したい。

朝比奈委員

私も推薦する。下平さんよろしく願います。残念ながら私、男なので。

安良岡教育長

全員一致で下平委員にぜひお願いしたいという、お忙しいところと思うが、お引き受けいただくことでよろしいか。

下平委員

お受けする。

安良岡教育長

下平委員にお願いしたいという教育委員の意向である。

教育部次長兼教育総務課担当課長

それでは下平委員ということで、市に推薦させていただきたいと思う。よろしく願います。

安良岡教育長

それでは、鎌倉市総合計画審議会委員候補者の推薦については、下平委員を推薦すること
で同意する。下平委員、教育委員会の代表としてよろしくお願ひしたい。

(協議事項「鎌倉市総合計画審議会委員候補者の推薦について」は、同意された)

3 議案第9号 鎌倉市図書館の開館時間及び休館日の変更について

安良岡教育長

次に日程の3、議案第9号「鎌倉市図書館の開館時間及び休館日の変更について」を議題
とする。議案の説明をお願いする。

中央図書館長

議案第9号、「鎌倉市図書館の開館時間及び休館日の変更について」提案理由の説明をす
る。議案集16ページ、17ページを参照願ひたい。

平成30年9月1日から平成30年11月30日までの3か月間、利用者からの要望が高い夜
間開館の拡大等サービスの向上を図るため、中央図書館及び腰越図書館において開館時間と
休館日の変更を行う試行を実施する。

図書館の開館時間は、鎌倉市図書館の設置及び管理に関する条例施行規則第3条に、平日
の木曜日及び金曜日は午前9時から午後7時まで、それ以外の日は午前9時から午後5時ま
までと定められている。ただし、教育委員会は、必要があると認めるときはこれを臨時に変更
することができる」と規定されている。今回、この開館時間を同条第2号の平日の木曜日、金
曜日以外の日を午前9時から午後5時までを、午後6時まで1時間延長する。ただし、腰越
図書館については現行の人員で午後6時までの開館に対応するため、同条第1号、第2号と
もに午前9時に開館しているところを、午前9時30分に遅らせていただく。

また、休館日は、同条例施行規則第4条第2項に、教育委員会は必要があると認めるとき
は、休館日を臨時に開館し、または臨時に休館日を定めることができると規定されているこ
とから、今回、祝日以外の月曜日を休館とする。ただし、腰越図書館については、9月24
日の秋分の日が月曜祝日で開館を予定していたが、腰越行政センターの全館設備保守のため
に休館とさせていただきます。

これらの試行を行うため、今回開館時間及び休館日を臨時に変更しようとするものである。
今回の試行後に検証を行い、平成31年度からの本格実施に向けて進めていく予定である。

(質問・意見)

山田委員

図書館の利用者についてお聞きしたいのだが、大きく分けて昼間と夕方の時間帯で何か、
例えば大人と子どもの割合だとか、なにか総じて見られる違いがあるのか。例えば、夕方に

下校後の子どもが何かお稽古ごとの何かの用事や、あるいは低学年の小さい子が例えば保護者の方が迎えにいらっしゃるまで待つというようなことが、この時間帯で確かに5時か6時になると非常にありがたいのではないかと思ったりしているが、現行の利用者は大体どのような様子か教えていただきたい。

中央図書館長

図書館では、利用者に対するアンケートということで、利用者の声を集めているところなのだが、職員が見た感じもあるのだが、午前中は割とご高齢の方が9時に開館されるのを何人かがお待ちになり、お入りになって新聞を読まれたりして過ごされている。夕方の時間帯については、逆に高校生だとか若者がかなりいて、あとはお子さんを連れてくるお母さまとかの利用があり、夜間開館6時、7時まで開館してほしいというような声を寄せられている状況である。

山田委員

その夜間というのは大体何時頃までのご希望が多いのか。そのご希望を受けて延長されるということだと、曜日によって時間が違うというのは少し困らないかと思うのだが、いかがか。

中央図書館長

まず希望なのだが、アンケートを見る中では、7時それから8時という声もある。ただ、私どもの現行の人員でできる体制では今のところ6時が精一杯ということと、あとは木曜と金曜の午後7時までの開館については現行のとおりお願いするという声も強いので、これは維持していきたいと考えている。

安良岡教育長

他の地域館は9時から7時で変わらない、腰越だけ30分遅らせるということによいか。

中央図書館長

深沢、玉縄、大船の3館については現行どおり9時から開館をして、平日の木曜、金曜は7時まで開館しているが、それ以外の日は午後5時までの開館となっている。

安良岡教育長

この腰越の取組がよければ、他の地域館にも広めていくようなことは。

中央図書館長

今回の腰越での試行結果を見て、他の地域図書館でも開館時間を動かせるかどうかの検討はしてまいりたい。

(採決の結果、議案第9号は原案どおり可決された)

安良岡教育長

以上で、本日の日程は全て終了した。これをもって6月定例会を閉会する。